

新潟市政令指定都市移行 10 周年記念
BSN新潟放送創立 65 周年記念

原安三郎コレクション

広重ビビッド

広重・北斎・国芳、至高の初摺^{しよすり}

【会期】

前期：2017年3月18日（土）～4月16日（日）

後期：2017年4月18日（火）～5月21日（日）

※前・後期で展示作品ほぼ総入替

【開場式】

2017年3月18日（土）午前9時～

休館日：月曜日・祝日にあたる月曜日の翌日（3月21日〔火〕）

※ただし、3月20日〔月・祝〕、5月1日（月）は開館

開館時間：午前9時30分～午後6時（観覧券の販売は午後5時30分まで）



左：歌川広重《名所江戸百景 水道橋駿河台》1857年（前期展示）

右：歌川広重《六十余州名所図会 阿波 鳴門の風波》1855年（後期展示）

【**展覧会のポイント**】

1. 巨匠・歌川広重〈名所江戸百景〉〈六十余州名所図会〉全点の「初摺」を公開。

絵師の創意や、彫師・摺師の技を存分に伝えるのが、「初摺」（しょすり）です。「後摺」（あとすり）では、線がぼやけ、摺色も減らされます。歌川広重の傑作〈名所江戸百景〉〈六十余州名所図会〉は当時から評判を集め、数多く「後摺」が摺られました。今回、この二つの連作の「初摺大揃い」を公開、ほんの数セットしか現存を確認されていない、貴重なものです。

2. 極上の保存状態、当時そのままの江戸の色

しかも、このたび展示される作品は、ほとんど退色が見られません。見事な保存状態を誇る、極上のコレクションです。藍・朱・群青など、つい昨日摺られたばかりのように濃密でビビッドな色彩に、「これがほんとうの浮世絵か」と、どなたも驚かれるに違いありません。

3. 北斎の幻のシリーズ〈千絵の海〉はじめ、国芳の名品、広重の肉筆画も

葛飾北斎の〈富嶽三十六景〉〈諸国名橋奇覧〉など、代表作 22 点も出品されます。なかでも、北斎が日本各地の水辺の風景を描いた連作〈千絵の海〉全 10 点揃いは、現存数が少なく、非常に珍しいものです。歌川国芳が西洋絵画から影響を受けたユニークな作品、そして広重の肉筆画などもあわせ、総計 230 点を展示します。

4. 財界人・原安三郎氏の一大コレクション

今回の展示作品は、日本化薬株式会社会長をつとめた原安三郎氏（はら・やすさぶろう 1884～1982）が蒐集したもの。財界の重鎮として活躍した原氏が、実は浮世絵蒐集家でもあったことは、あまり知られていませんでした。原安三郎コレクションの〈名所江戸百景〉〈六十余州名所図会〉のセットが全点公開されるのは、今回が初めてです。

5. 前・後期ほぼ総入替

作品保護のため、会期を二つにわけ、ほぼ全ての作品の入れ替えを行います。ぜひリピーター割引（本展の半券提示で2回目以降のご来場は団体料金に割引）をご利用ください。



〔左より〕

歌川広重《六十余州名所図会 越後 親しらず》1853年（通期展示）

歌川広重《六十余州名所図会 佐渡 金やま》1853年（通期展示）

歌川広重《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》1857年（前期展示）

歌川広重《名所江戸百景 亀戸梅屋舗》1857年（前期展示）

【展示構成】

第1章 初公開 歌川広重〈六十余州名所図会〉

歌川広重（1797～1858）晩年の連作〈六十余州名所図会〉（刊行期間：1853～1856）は、五畿七道（五畿：大和・山城・摂津・河内・和泉内、七道：東海道・東山道・北陸道・山陰道・山陽道・南海道・西海道）の68ヶ国、これに江戸の風景と、全体の目録を加えた、全70図で構成されます。美しいグラデーションを生み出す「あてなしぼかし」（版木を水で濡らし、その上から絵具を塗って、色を自然にぼかす）という高度な技法が用いられており、原安三郎コレクションでは「雲母摺（きらすり）」（版木に糊を塗って摺り、糊の上に雲母の粉末をふりかける）も見事に残っています。所蔵先よりご理解をいただき、越後の風景を描いた《佐渡 金やま》《越後 親しらす》の2点は、特別に全期間展示します。

第2章 最晩年の傑作 歌川広重〈名所江戸百景〉

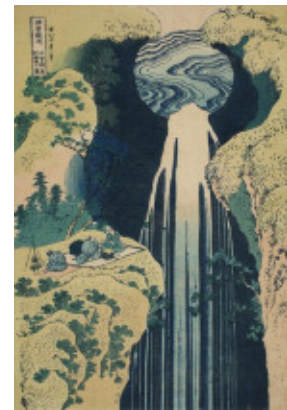
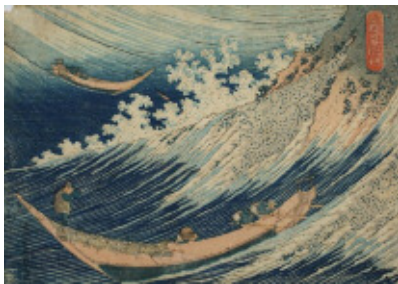
最晩年の広重が手掛けた〈名所江戸百景〉は、1856年から没年の1858年まで118図を刊行、没後の1859年に二代広重による1図が加えられ、目録とあわせて全120図で構成されました。近景を大きく、遠景を小さく描く構図は大胆で、ゴッホは《大はしあたけの夕立》《亀戸梅屋舗》を模写しています。これまでの展示では、各図を季節ごとに分類した目録に従って配列することが一般的でしたが、この展覧会では作品を地域ごとに分け、実際に江戸名所をめぐり歩くように構成します。広重の目を通して大江戸観光を追体験していただければ幸いです。

第3章 幻のシリーズ 葛飾北斎〈千絵の海〉

広重と並ぶ名所絵の巨匠・葛飾北斎（1760～1849）の〈千絵の海〉は日本各地の水辺の景色を描いた揃物です。智慧の深さを海にたとえる「智慧の海」の言葉遊びになっており、〈富嶽三十六景〉の成功を受けて刊行されたものと考えられていますが、あまり残されていません。全10図を揃える所蔵先はほとんどありませんが、この展覧会では全点を展示します。

第4章 名所絵の名品—葛飾北斎、歌川国芳とともに

30代の広重の出世作〈東海道五拾三次之内〉や晩年の肉筆画、そして葛飾北斎の連作〈富嶽三十六景〉〈諸国名橋奇覧〉〈諸国瀧廻り〉から、選りすぐった名品をご紹介します。そして歌川国芳（1798～1861）による、江戸名所を主題とした〈東都〉〈東都名所〉のシリーズ、《忠臣蔵十一段目夜討之図》など、江戸後期を彩った浮世絵師たちの競演をご覧ください。



〔左より〕

葛飾北斎《千絵の海 総州銚子》1832年頃（前期展示）

葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》1829～32年頃（前期展示）

葛飾北斎《諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧》1833年頃（後期展示）



歌川広重《東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪》1833年頃（前期展示）

歌川国芳《忠臣蔵十一段目夜討之図》1832年頃（後期展示）

【関連イベント】

- (1) 美術講座「北斎と広重 名所絵の黄金時代」
講師： 松沢 寿重（新潟市美術館 学芸員）
日時： 3月18日（土） 午後2時～（約90分） 会場： 当館2階講堂（開場30分前）
- (2) 講演会「旅する広重〈六十余州名所図会〉」
講師： 小池 満紀子（中外産業株式会社 美術担当 / 国際浮世絵学会 理事）
日時： 4月16日（日） 午後2時～（約90分） 会場： 当館2階講堂（開場30分前）
- (3) みどころ解説
講師： 当館学芸員
日時： 前期：3月26日（日）、4月8日（土）
後期：4月22日（土）、5月13日（土）
各日午後2時～（約30分） 会場： 当館2階講堂（開場30分前）

※ いずれも聴講無料・定員100名（事前申込不要・先着順）

【展覧会名称の表記について】

- 【*1】 新潟市政令指定都市移行10周年記念
【*2】 BSN新潟放送創立65周年記念
【*3】 **原安三郎コレクション 広重ビビッド**
【*4】 広重・北斎・国芳、至高の初摺

※ 【*1】 【*2】 【*4】：いずれも割愛可、【*3】のみ必須です。

※ 口頭原稿では「展」を付し、「広重ビビッド展」として頂いて差し支えありません。

【基本情報】

1. 会場 新潟市美術館（企画展示室）
2. 会期 前期：2017年3月18日（土）～4月16日（日）；26日間
後期：2017年4月18日（火）～5月21日（日）；31日間
※ 前・後期で展示作品ほぼ総入替
※ 開場式：2017年3月18日（土）午前9時～
3. 休館日 月曜日・祝日にあたる月曜日の翌日（3月21日〔火〕）
※ ただし、3月20日（月・祝）、5月1日（月）は開館
4. 開館時間 午前9時30分～午後6時（観覧券の販売は午後5時30分まで）
5. 観覧料 一般1,000円（前売・20名以上の団体800円）
大学生・高校生800円（20名以上の団体600円）
中学生以下無料
※リピーター割引：本展の半券提示で2回目以降のご来場は団体料金に割引
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料（受付でご提示ください）
【前売券販売所】（販売期間：1月20日～3月17日）新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館、hickory03travelers、シネ・ウインド、DeKKY401、新潟伊勢丹、文信堂 CoCoLo 万代、セブン-イレブン（セブンチケット）、インフォメーションセンターえん
※ NIC 新潟日報販売店でもお取り寄せできます。
6. 主催 新潟市美術館、BSN新潟放送
7. 共催 新潟日报社
8. 特別協賛 福宝
9. 協賛 セコム上信越
10. 後援 公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団
11. 企画制作 TBSテレビ
12. お問い合わせ 新潟市美術館（担当：藤井素彦、星野立子）
〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051 museum@city.niigata.lg.jp

「原安三郎コレクション 広重ビビッド」

開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆開場式（3月18日午前9時～）の取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
- ◆本リリースならびにチラシに掲載の画像は、すべてデータで提供可能です。ただし、ご使用は本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、1部ご送付ください。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	3月18日開場式・開場式以降 (月 日 時頃) ・取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき10組20名様まで
通信欄 (画像の希望等)	